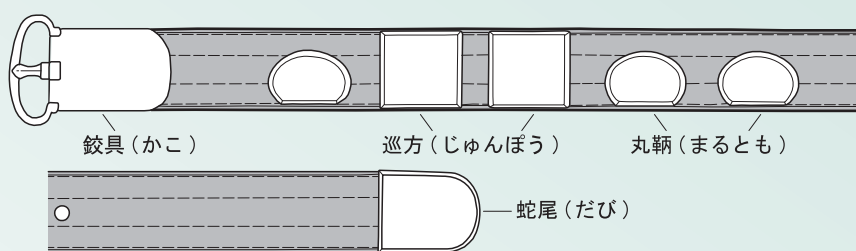


# わらびて



144号

写真は、「石帯」と呼んでいる古代の石製品です。(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが発掘調査を行った明神下遺跡(奥州市胆沢若柳)で、平安時代(9世紀後半から10世紀前半)の鍛冶工房と推測される遺構から8点出土しました。

石帯とは、貴族や官人が身に付ける腰帯(ベルト)を飾るアクセサリで、半円形の「丸鞆」と、正方形の「巡方」を模式図のように並べて装着し、帯を飾ります。表面はていねいに磨かれ、光沢を放っています。また裏面には、2箇所ずつ小さな穴があげられており、紐(銅線?)を通して帯に結んだものと考えられています。全て白色の石材(チャート)で作られていますので、8点の石帯は元々1本の帯に装着されていたと考えられます。持ち主は定かではないですが、このような帯を身に着けられる階級の官人が明神下集落にいた、あるいは訪れていたことを示す証拠となりそうです。

県内での石帯の出土事例は20遺跡ほどと希少で、また1つの遺跡からこのように複数出土した例は特に珍しく、貴重な資料と言えます。

(文化財専門員 須原 拓)

## 主な内容

- ◆ 令和2年度に県内市町村教育委員会等が行った県内発掘調査
- ◆ 令和3年度に(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行う調査
- ◆ 北条館跡  
-日詰(比爪)の地に築かれた平城-
- ◆ イベントのお知らせ

【所報名について】「わらびて」は蕨手刀(わらびてとう)に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨(さわらび)の芽を巻いた状態に似ていることからこう呼ばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

## 令和2年度 岩手県内の市町村教育委員会等が行った発掘調査の成果について

令和2年度に県内の市町村教育委員会等が実施した発掘調査は、個人住宅の建設や、ライフライン、区画整理等の公共事業に伴う調査が主体でしたが、史跡の内容確認調査についても実施されました。

### 縄文時代

縄文時代の遺跡は、県内全域で広く確認されています。

北上市の八天遺跡では、史跡の内容確認調査が行われ、縄文時代中期～後期の竪穴住居跡6棟が見つかりました。

田野畑村の個人住宅に係る和野Ⅰ遺跡200㎡の調査では、縄文時代中期の竪穴住居跡が25棟確認され、多量の土器や石器も出土しました。

洋野町では、昨年度に引き続き、西平内Ⅰ遺跡の内容確認調査を、岩手県立博物館と共同で実施しており、縄文時代後期後葉の土器や土製品などが確認されています。また、同じ洋野町では、民間開発事業に伴う北玉川Ⅱ遺跡、南玉川Ⅳ遺跡から、狩場として利用が想定される陥し穴状の遺構が見つかっています。



【洋野町・南玉川Ⅳ遺跡 調査の様子】

宮古市の市道改良に伴う腹帯配石遺構群の調査では、20㎡と狭小の調査範囲でありながら、4基の配石遺構が確認されています。

大船渡市の長谷堂貝塚群では、個人住宅100㎡の範囲内に、縄文時代晩期の竪穴住居跡2棟、配石遺構とともに石棒が出土しています。

釜石市の屋形遺跡では、東日本大震災の復興事業関連の調査が行われ、三陸沿岸では貴重な縄文時代中期末～後期初頭の貝塚を伴う集落跡であるため、国の史跡に指定されました。

### 古代

奈良～平安時代にかけての古代の遺跡についても、広く県内全域で確認されています。

盛岡市の下永林遺跡の調査は、土地区画整理事業に伴うもので、古代の円形周溝18基、土壇墓1基、宅地造成に関連する荒屋遺跡では、奈良時代の竪穴建物跡が11棟、確認されました。

紫波町の桜町中屋敷遺跡の調査は宅地造成に伴うもので、古代の竪穴建物跡4棟、掘立柱建物跡と推測される柱穴が1118基見つかっています。

また平泉町では、社会教育施設の建設に伴う志羅山遺跡の調査が行われ、12世紀の四面庇建物跡や塀の跡、井戸跡などが確認されています。

### 中・近世以降

史跡整備の内容確認調査として、盛岡城跡では、建物の礎石となる根石が64個、柱列が4列、二戸市の九戸城では、二ノ丸大手の土橋部分で石垣、釜石市の橋野高炉跡では、大工長屋想定地において建物跡1棟がそれぞれ確認されています。



【花巻市・花巻城跡 調査の様子】

花巻市では、宅地造成に伴う花巻城跡の調査で、掘立柱建物跡と推測される柱穴120基とともに、石組や石垣を伴う8条の溝跡、近世陶磁器、硯、瓦、土壁の一部などが見つかっています。

(岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課)



令和2年度に市町村が行った発掘調査



No.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
1	橋場遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	縄文(晩期)	散布地
2	三ノ丸遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	縄文(中期)	散布地
3	館Ⅰ遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	縄文・中世	狩場・集落
4	中曾根遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落・古墳
5	九戸城跡	二戸市	二戸市教育委員会	中世	城館跡
6	前小路遺跡(第71次)	二戸市	二戸市教育委員会	平安	集落
7	前小路遺跡(第72次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代・近世以降	散布地
8	前小路遺跡(第73次)	二戸市	二戸市教育委員会	平安・近世	集落・墓域
9	前小路遺跡(第74次)	二戸市	二戸市教育委員会	縄文・古代	散布地
10	前小路遺跡(第75次)	二戸市	二戸市教育委員会	平安・近世	集落・墓域
11	前小路遺跡(第76次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落
12	前小路遺跡(第77次)	二戸市	二戸市教育委員会	平安	集落
13	晴山遺跡(第40次)	二戸市	二戸市教育委員会	縄文・古代	散布地
14	晴山遺跡(第41次)	二戸市	二戸市教育委員会	縄文・古代	散布地
15	越田橋遺跡	一戸町	一戸町教育委員会	縄文・平安	包含層・集落
16	下永林遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	古代	墓域
17	荒屋遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	奈良・平安	集落
18	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	近・現代	散布地
19	西鹿渡遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	奈良	集落
20	稲荷町遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文・古代・中世	狩場
21	百目木遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	平安	集落
22	盛岡城跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	近世	城館跡
23	桜町中屋敷遺跡(第1次)	紫波町	紫波町教育委員会	縄文・古代	散布地・集落
24	古館橋遺跡(第7次)	紫波町	紫波町教育委員会	縄文・古代	散布地・集落
25	古館橋遺跡(第8次)	紫波町	紫波町教育委員会	縄文・古代	散布地・集落
26	田頭Ⅱ遺跡(第1次)	紫波町	紫波町教育委員会	縄文・古代	散布地
27	南日詰大銀Ⅰ遺跡(第1次)	紫波町	紫波町教育委員会	古代・中世	集落
28	殿屋敷遺跡	花巻市	花巻市教育委員会	縄文・平安	狩場・集落
29	花巻城跡	花巻市	花巻市教育委員会	中世	城館跡
30	似内遺跡	花巻市	花巻市教育委員会	平安	集落
31	二子城跡(二子)	北上市	北上市教育部教育委員会	縄文・中世	集落・城館跡
32	馬場野遺跡(二子)	北上市	北上市教育部教育委員会	中世	墓域
33	滝ノ沢遺跡①(大堤西)	北上市	北上市教育部教育委員会	縄文(前期)	集落
34	八天遺跡(更木)	北上市	北上市教育部教育委員会	縄文	集落

No.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
35	野田Ⅰ遺跡(二子)	北上市	北上市教育部教育委員会	古代	集落
36	滝ノ沢遺跡②(大堤北)	北上市	北上市教育部教育委員会	縄文・古代	狩場・集落
37	大堤東遺跡(大堤東)	北上市	北上市教育部教育委員会	縄文	狩場
38	岡島遺跡(二子)	北上市	北上市教育部教育委員会	中・近世	集落
39	鳥海柵跡	金ヶ崎町	金ヶ崎町教育委員会	古代	城柵跡
40	長者ヶ原鹿寺跡	奥州市	奥州市教育委員会	古代	社寺跡
41	衣川遺跡群	奥州市	奥州市教育委員会	平安	集落
42	福原遺跡	奥州市	奥州市教育委員会	近世	散布地
43	町屋敷遺跡	奥州市	奥州市教育委員会	古代・近世以降	集落
44	胆沢城跡	奥州市	(一財)奥州市文化振興事業団埋蔵文化財調査センター	古代	城柵跡
45	中尊寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
46	花立Ⅱ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	集落
47	志羅山遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	集落
48	中尊寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
49	花立Ⅱ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	集落
50	祇園Ⅰ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
51	花立Ⅱ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	集落
52	無量光院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
53	親自在王院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
54	安倍館跡	遠野市	遠野市教育委員会	中世	城館跡
55	宮代Ⅳ遺跡	遠野市	遠野市教育委員会	平安	集落
56	一関城遺跡	一関市	一関市教育委員会	中世	城館跡
57	八丁館遺跡	一関市	一関市教育委員会	中世	城館跡
58	月町遺跡	一関市	一関市教育委員会	平安・近世	散布地
59	骨寺村荘園遺跡	一関市	一関市教育委員会	中世	荘園
60	長谷堂貝塚群	大船渡市	大船渡市教育委員会	縄文(晩期)	集落
61	屋形遺跡	釜石市	釜石市	縄文・弥生	集落
62	橋野高炉跡	釜石市	釜石市	近世・近代	製鉄跡
63	腹帯配石遺構群	宮古市	宮古市教育委員会	縄文(中期)	集落
64	和野Ⅰ遺跡	田野畑村	田野畑村教育委員会	縄文(中期)	集落
65	北玉川Ⅱ遺跡	洋野町	洋野町教育委員会	縄文	狩場
66	南玉川Ⅳ遺跡	洋野町	洋野町教育委員会	縄文	散布地
67	西平内Ⅰ遺跡	洋野町	洋野町教育委員会	縄文	祭祀遺跡



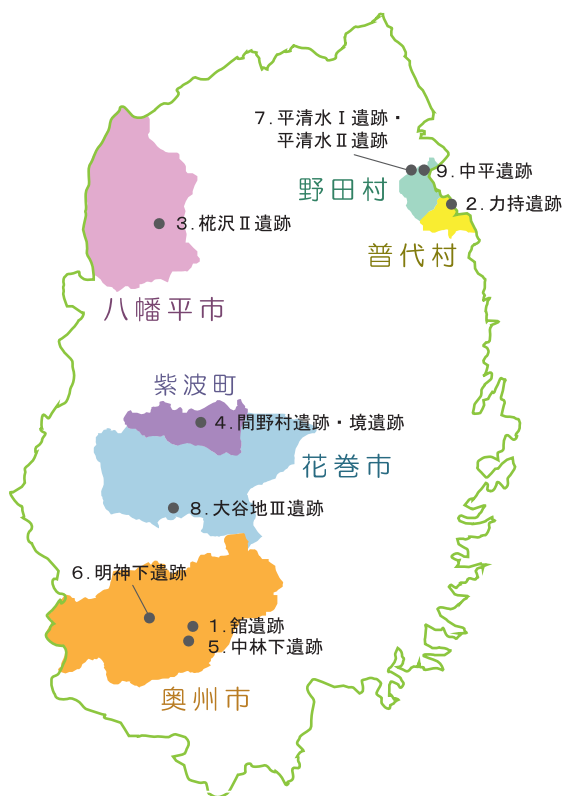
令和3年度

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行う調査

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、令和3年度、県内3市1町2村において、11遺跡 34,943㎡の発掘調査を予定しています。沿岸部の復興事業に伴う調査の終了や、大規模な社会的インフラの整備が少ないことにより、昭和52年度の創設以来最も少ない面積となりました。

今年度は、圃場整備などの農業基盤整備関連の事業や市町村の事業による調査が多くを占めています。

予想される時代は、昨年度に引き続き平安時代が最も多く、次いで奈良時代です。縄文時代の遺構、遺物は例年より少ないことが予想されます。



縄文時代

普代村力持遺跡は、過去2回の調査で縄文時代前期～中期のこの地域の拠点的な集落であり、青森県を中心として分布する円筒式土器と仙台湾を中心として分布する大木式土器の両方が出土しています。土器や石器などの遺物も900箱を超え、竪穴住居跡やフラスコ状土坑が重なって多数見つかっています。今回は178㎡とごく狭い調査区ですが、集落の中心にあたり、遺構、遺物の集中する地点と予想されています。

野田村の平清水Ⅰ遺跡・平清水Ⅱ遺跡は昨年度からの継続調査です。過去の調査で縄文時代前期後半から中期前半を中心とする円筒式土器文化の集落が見つかっていますが、今回の調査でそれらの集落の範囲が判明することが期待されます。隣接する中平遺跡は、縄文時代の狩場の可能性があり、陥し穴が見つかると思われま

奈良・平安時代

奥州市明神下遺跡、中林下遺跡は昨年度に引き続き調査を行います。

明神下遺跡は胆沢川を北上川との合流地点から10kmほどさかのぼった川岸の集落で、昨年度調査と併せると平安時代の竪穴住居跡100棟以上が見込まれます。竪穴には工房と思われるものもあり、鉄製品が豊富に出土しているほか、平安時代の官人が身に着ける石帯という帯の飾りも見つかりました(表紙写真)。胆沢城との関連が注目される集落のようすがさらに明らかになると期待されます。

中林下遺跡は、平安時代の掘立柱建物跡で構成される遺跡です。2間×3間程度の小型の建物複数と<sup>ひさし</sup>庇を持つやや大型の建物が1棟見つかっています。今年度は小型の建物が多い地点を調査します。建物構成が明らかになり、遺跡の性格をとらえることができるものと期待されます。

紫波町間野村遺跡・境遺跡は隣接する遺跡です。間野村遺跡からは昨年度平安時代の集落が見つかっています。集落が北上川により近い境遺跡まで広がるか、明らかになります。

令和3年度に(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行う発掘調査一覧

No.	調査遺跡名	ふりがな	市町村	事業名	調査面積(m <sup>2</sup> )	備考
1	館遺跡	たて	奥州市	一般国道4号水沢東バイパス	2,000	平安時代
2	力持遺跡	ちからもち	普代村	三陸沿岸道路	178	縄文時代
3	柁沢Ⅱ遺跡	かばさわ2	八幡平市	公共関与型産業廃棄物 最終処分場整備事業	300	縄文時代
4	間野村遺跡 ・境遺跡	あいのむら ・さかい	紫波町	主要地方道紫波江繋線 星山地区道路改良工事	620	平安時代
5	中林下遺跡	なかばやしした	奥州市	経営体育成基盤整備事業(真城南地区)	8,100	平安時代 ・中世
6	明神下遺跡	みょうじんした	奥州市	経営体育成基盤整備事業 (若柳中部地区)	7,930	平安時代
7	平清水Ⅰ遺跡 ・平清水Ⅱ遺跡	ひらしみず1 ・ひらしみず2	野田村	農業競争力強化基盤整備事業 (泉沢・中平地区)	2,833	縄文時代
8	大谷地Ⅲ遺跡	おおやち3	花巻市	(仮称)花巻PAインターチェンジ 整備建設事業	5,982	縄文時代 ・古代
9	中平遺跡	なかたい	野田村	野田小学校建設事業	7,000	縄文時代 ・古代
9件 11遺跡				総計	34,943	※4月開始時点

今回初めて調査を行う奥州市の館遺跡は、平安時代の集落、花巻市大谷地Ⅲ遺跡からは、奈良時代の集落が見つかることが予想されます。

野田村の中平遺跡は、岩手県指定史跡「野田竪穴住居址群」の指定範囲を含む遺跡です。昭和40年に岩手大学により、遺構が埋没せずに窪地として残っている箇所分布調査が行われ、古代の大集落であることがわかっています。今回の調査区は史跡指定地の北側で、古墳時代から奈良、平安時代までの竪穴住居跡が相当数見つかるかと期待されます。

中世

昨年度、中林下遺跡から堀で囲まれた居館が見つかっています。16世紀後半とみられ、今年度も引き続き調査を行います。

その他

平成30年度から3年にわたって調査が行われた紫波町北条館跡の室内整理を行います。この調査では平安時代(9～10世紀、12世紀)、戦国時代(15世紀～16世紀)の遺構が密に見られました。来年度の報告書発刊を目指し、これらの遺構と遺物の整理を行います。

また、東日本大震災により被災した陸前高田市立博物館の収蔵資料のうち土器や石器などの

考古資料の復原、整理を行います。

報告書は北上市の二子城跡、令和3年度発掘調査報告書の2冊の発刊を予定しています。

((公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 調査課)



大谷地Ⅲ遺跡 奈良時代の竪穴住居跡の調査



明神下遺跡 今年もたくさんの住居跡を調査します



# 北条館跡 一日詰(比爪)の地に築かれた平城

紫波郡紫波町赤石地区に所在する北条館跡は、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが北上川の堤防工事に関連して3年間で約10,000㎡の発掘調査を実施し、平安時代～江戸時代の遺構・遺物が数多く見つかりました。今回は、戦国時代(15～16世紀)の城館に関わる成果を中心にをご紹介します。

## 1 お城の構造



遺跡全景 南東から

北条館跡については、文献史料がほとんどなく城主や築城年は不明ですが、天正18(1590)年に豊臣秀吉が南部信直に交付した朱印状にある命令に従い、城の破却を行ったことを申告した目録である『南部大膳大夫分国内諸城破却共書上』にある「志和郡肥爪平城」とする説があります。

今回の発掘調査により、堀で区画された曲輪が南北につながる連郭式(曲輪を並列に配置する縄張り)の城館であることが確認されました。普請(城の基礎を作る土木工事)に関わる遺構として堀、土橋、土塁が見つかりました。堀は7条あり、幅は4～15m、深さは2～4mと様々です。いずれも箱堀で、人の手で埋め戻されているものもありました。土橋は調査区内では1箇所見つかっており、調査区外にもさらに

1箇所あるようです。土塁は高さ・幅とも1～2mと小規模なものが現存しており、その一部を調査しました。

作事(建物などを作る建築工事)に関わる遺構として竪穴建物、掘立柱建物、門、柵・塀などが見つかりました。竪穴建物は21軒あり、平面



焼失した竪穴建物 東から

形が正方形のものは床面に炉があることから工房、長方形のものは半地下式の倉庫と考えられます。また、竪穴建物のなかには意図的に火にかけられたり人の手で埋め戻されたものが確認されています。

掘立柱建物は100棟以上ありますが、年代決定が難しく、平安時代や江戸時代のものも含まれていると考えられます。最大のものは8間×

7間(15m×13m)で、1間ごとに柱が立つ総柱式の建物です。掘立柱建物は同じ軸方向で柱穴同士が重なり合うことから、繰り返し建て替えられていたと考えられます。

門は四本柱の棟門で、同じ位置で建て替えが行われていました。柵・塀は溝状のもので、通路の側溝や土橋の前の目隠しとして設置されていました。



最大の掘立柱建物 直上から



堀と土橋、目隠し塀 東から

## 2 様々な遺物

遺物の種類は豊富で、陶磁器(中国産青磁・白磁、瀬戸美濃・信楽産陶器など)、金属製品(鉄鏃・小札・刀子・釘など)、銭貨、石製品(砥石・硯・臼など)、木製品(曲げ物・折敷など)があります。なかでも茶道具が多く、天目茶碗や茶壺、石臼(茶臼)のほか、鉄製の茶釜と考えられる破片も出土しています。戦国武将にとって茶の湯を行うことはステータスの一つであり、茶道具の出土は北条館の城主がそれを行うことができる人物であったことを示しています。



天目茶碗

茶壺

茶臼

茶釜?

## 3 破却されたお城

多くの遺構で確認された廃絶行為は、焼失した竪穴建物から採取した炭化材の年代測定結果から16世紀後半～末頃に行われたと推定され、先に記した豊臣秀吉が出した破却令の年代(1590年)と重なります。記録の中で「肥爪平城」は「破却」と記されており、発掘調査の成果と史料の記載をふまえると、北条館がこの時破却さ

れた「肥爪平城」である可能性は非常に高いと考えられます。残念ながら城主については明らかにできませんでしたが、北条館が「肥爪平城」に該当するならば破却を命じられるほど重要な城館であったといえるでしょう。

(文化財専門員 村田 淳)



# 令和3年度 イベントのお知らせ

## 復興発掘調査展 in 宮古市

期日 令和3年9月23日(木)～26日(日)

会場 宮古市民文化会館 展示室

埋蔵文化財センターでは、東日本大震災からの復興工事に先立って、宮古市内で合計30遺跡の発掘調査を行いました。これらの整理作業、報告書作成が一段落したのを機会に、発掘の成果をご覧ください展示会を開催します。

本県の沿岸各地で実施された復興関連の発掘調査の中では、最も大規模かつ集中的に行われたのが宮古市内です。縄文時代の大集落をはじめ

め、奈良・平安時代の集落跡、古代から中世にかけての製鉄関連遺跡、戦国時代の城館跡など、数多くの成果をあげることができました。

今回は、様々な形の縄文土器や石器、城館から見つかった陶磁器など、約400点の展示を通じて、地中から新たに発見された郷土の歴史に触れていただく機会にしたいと思います。

ぜひ、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

## 人事動向

(令和3年4月1日付)

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

### ◆退職

佐々木 一成 (理事兼所長)

### ◆採用

主任主査

小山内 透 (博物館学芸第一課長)

### ◆転出

総務部 主任主査

丸山 直美 (主任文化財専門員)

総務部奥州市駐在 主任専門学芸員

羽柴 直人 (主任文化財専門員)

総務部奥州市駐在 主任専門学芸員

西澤 正晴 (主任文化財専門員)

### ◆昇任

所長

齊藤 邦雄 (副所長兼調査課長)

参事兼調査課長

金子 佐知子 (主幹兼課長補佐)

主幹兼課長補佐

高木 晃 (課長補佐)

主任主査

久保田 幸恵 (主査)

主任文化財専門員

八木 勝枝 (文化財専門員)

### ◆派遣期間満了

(公財)福島県文化振興財団遺跡調査部専門文化財主査

高木 晃 (課長補佐)



宮古市 赤前皿遺跡 現地公開のようす



宮古市 高根遺跡 埋甕の出土状況 (縄文時代中期)

発行 岩手県立埋蔵文化財センター  
 編集 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185  
 電話：019-638-9001  
 E-Mail：i-maibun@echna.ne.jp  
 URL：http://www.iwate-maibun.jp/  
 発行日 令和3年6月30日  
 印刷 東京カラー印刷株式会社